

## 令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針		個別テーマ	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点											
		人口減少 対策	過疎 中										
(会津地方振興局)													
1	継続 2		○	人 づ く り	喜多方市文化芸術創造都市推進事業	喜多方市	ソフト	4,606	3,339	喜多方の染型紙「会津型」デザインの活用をテーマに、会津型の歴史的背景や会津型の多面的な価値を言語化していくため、型紙の活用に関する調査・研究やデジタルアーカイブ化に向けた準備を進める。 ・「会津型」の型紙の研究 ・地元高校生と連携したイベントの開催 ・デジタルアーカイブに向けた各種データの整理 ・文化芸術創造都市周知のためのフリーペーパー発行 ・市民参加型のワークショップの開催	R6.4.1～R7.2.28	喜多方市	
2	新規	○	○	移 住 ・ 定 住	DXを活用した人材育成共創事業	西会津町	ソフト	4,986	3,988	人口減少に起因する様々な課題の解決や行政サービスの向上、移住定住の促進等を図るため、デジタル技術を生かした新たな働き方や関係・交流人口の拡大を推進する。 ・デジタル世話人の育成 ・企業への実証フィールドの提供 ・越境人材の育成	R6.4.1～R7.3.31	西会津町	
3	新規	○	○	移 住 ・ 定 住	野口英世博士顕彰&SNSプロモーション事業	猪苗代町	ソフト	8,318	6,237	猪苗代町は猪苗代湖や磐梯山などの四季折々のロケーションを有し、野口英世博士のふるさととして県内外から旅行者が訪れる観光地である一方で、若年層からの認知度は低く、令和6年に千円札の肖像画が変更となることでさらなる認知度の低下が想定される。そこで、若年層をターゲットとしてSNS等のデジタルツールを活用した情報発信や周遊事業を実施することで野口英世の偉業を後世に伝えとともに若年層の誘客を図る。 ・SNSプロモーションの実施 ・デジタルフォトコンテストの実施 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・Webサイトの構築 ・フォトフレームの設置	R6.4.1～R7.3.31	猪苗代町	
4	継続 2	○	○	移 住 ・ 定 住	猪苗代町ワーケーション研修プログラム事業	猪苗代町	ソフト	1,569	1,161	町民を対象とした地域コーディネーター養成講座の実施により受入体制を整備するとともに、地方移住に興味を持つ首都圏在住者を誘致し、地域住民と共に地域課題の解決等を行うことで、関係人口の創出及び移住・定住の増加を図る。 ・地域コーディネーター養成講座の実施 ・地域事業者とのフィールドワーク、交流 ・移住につながるブランディングの考案と課題の整理	R6.4.1～R7.3.31	猪苗代町	
5	継続 2		○	地 産 地 消	会津湯川米ブランド化推進事業	湯川村	ソフト	8,813	6,609	近年ふるさと納税等により知名度が向上している会津湯川米について、画一的な基準や統一したデザインを設けることで、品質向上を図る。また、県内外で販売会を実施することにより、生産者と消費者の直接的なコミュニティの場を設け、会津湯川米のさらなる認知度向上を図る。 ・会津湯川米のブランディング ・販路拡大に向けた販売会の実施 ・ブランド米のPR活動(農作業体験等) ・ふるさと納税返礼品での活用	R6.4.1～R7.3.31	首都圏、県内、湯川村	

## 令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針		事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考	
		重点											
		人口減少対策	過疎中										
6	新規		○	人づくり	自然公園只見線利活用推進事業	柳津町	ソフト	8,876	7,100	柳津町では、令和6年度にJR只見線会津柳津駅のリニューアルオープンと越後三山只見国定公園奥会津ビジターセンターのオープンを予定している。只見線全線運転再開の盛り上がりも未だ冷めることがない状況を踏まえ、国定公園や只見線のPR及び利活用推進を図る。 また、国定公園のガイドウォークやツアー商品の造成を見据えた自然ガイドの養成、新しい会津柳津駅を活用したイベントの実施、シェアサイクルの整備による二次交通の補完など、国定公園と只見線を中心とした更なる集客及び滞在時間の延伸、新たな体験プログラムの開発による町の観光コンテンツの充実などを実現し、観光地としての柳津町の魅力を向上させる。	R6.4.1～R7.3.31	柳津町	
7	継続3		○	地産地消	美坂高原「日本一の星空」事業	三島町	ソフト	5,650	4,450	奥会津は光害にさらされておらず、「日本一の星空の里」長野県阿智村に勝るとも劣らない天体観測の国内最適地である。光害の少なさは民家や建物の少なさに比例し、過疎化が進んでいることと関係しているが、光害の少なさを固有の地域資源ととらえ、美坂高原を「日本一の星空観測地」として県内外に浸透させ、新しい地域づくりを促進する。 ・国立天文台の講師を招いた講演会及び星空観望会の実施 ・星空ヨガなどのイベントの実施 ・ミサカノヨゾラフォトコンテスト ・地場産品マルシェの開催 ・「星空保護区」認定申請に向けた普及啓発活動	R6.4.1～R7.3.31	三島町	
8	新規	○	○	移住・定住	「ふるさと運動」から新たな関係人口創出事業	三島町	ソフト	5,000	4,000	三島町が全国に先駆け昭和49年にスタートさせた「ふるさと運動」は町の地域づくりの原点でもあり、令和6年をもって半世紀を迎えるが、その継承が危惧されている。そこで、当運動の精神や取組を再認識させるとともに、交流事業や観光受入事業の実施により台湾を始めとするインバウンドを含めた「関係人口」の創出から「観光入込」、さらには「移住・定住」につなげる。 ・地域づくり講演会、座談会 ・ふるさと運動記録のデータ化 ・テレサ・テン交流事業 ・生活工芸による交流事業 ・ふるさと運動拠点施設(美坂高原)でのイベント開催	R6.4.1～R7.2.28	三島町	
9	継続2		○	人づくり	自然教育村会館(旧玉梨小学校)活用・活性化事業	金山町	ソフト	2,787	2,090	昭和51年の旧玉梨小学校廃校に伴い金山町での生活体験ができる施設としてリニューアルした「自然教育村会館」の改修に合わせて新たな利活用の方法を検討する。 ・展示室のリニューアルの検討会 ・民具利活用講習会 ・地域資源の保存・研究等を行う人材の育成 ・子ども向けの民具ワークショップの開催	R6.4.1～R7.3.31	金山町	
10	継続2	○	○	移住・定住	からむし織体験生30周年記念事業 からむしの学校「先生・生徒の感謝祭」(平成から令和に世代をつなぐ)	昭和村	ソフト	4,826	3,606	平成6年度に発足した「からむし織体験生事業」が令和5年度に30周年の節目を迎えたが、その記念事業を記念誌として記録に残し、その軌跡と今後の課題を周知し今後の活動に活用する。また、作品展や勉強会等の実施により、村民や織姫の意識・技術向上を図り、今後の地域活性化につなげる。 ・からむし織体験生30周年記念事業記念誌の制作 ・体験生修了者作品展の実施 ・「ブーンミの島」上映会の実施 ・麻布勉強会の実施	R6.4.1～R7.3.31	昭和村	

## 令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針		個別テーマ	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点											
		人口減少 対策	過疎中										
11	新規	○	○	移住・定住	新しい観光ルートの確立、関係人口の創出・醸成	昭和村	ソフト	5,501	4,400	博士峠バイパスの供用開始に伴い、昭和村へのアクセスが身近に感じられるようになったことで、道の駅等は観光客で賑わいを見せている。これを供用開始後の一過性のものにならないため、各種イベントと併せて新しい観光ルートをPRするとともに、会津若松駅発着のツアーバス運行により「昭和村に行きやすい、身近な昭和村」をPRすることで誘客を図り、地域活性化を目指す。 ・道の駅10周年感謝祭&博士峠バイパス供用開始1周年記念イベントの開催 ・喰丸小を活用した「教科」をテーマにした各種イベントの実施	R6.4.1～R7.3.31	昭和村	
12	継続3		○	人づくり	郷土資料館を拠点とした歴史まちづくり事業	会津美里町	ソフト	632	460	昨年度開設した「会津美里町郷土資料館」を新たな地域振興の拠点施設として位置づけ、地域住民が郷土愛や地域の歴史を再認識するきっかけとなる事業を実施することにより、地域活性化や人流促進を図る。 ・周知事業(歴史講演会、歴史講座、歴史体験教室等)の開催	R6.4.1～R7.3.31	会津美里町	
13	継続3			地産地消	まんてん会津プロモーションプロジェクト事業	会津地域経済循環推進協議会	ソフト	2,200	1,700	会津の豊富な農産物や加工品等の素材の掘り起こしや販路拡大を目的に、首都圏の飲食店において会津の食材を活用したフェアを行う。また、同時に域内でのマルシェを開催することで、地域内での会津産食材の魅力の再発見や域内消費の拡大に繋げる。 ・さいたま市の飲食店で会津17市町村の食材を活用した「まんてん会津フェア」を開催(地域外プロモーション) ・まんてん会津マルシェの開催(地域内プロモーション) ・PR動画やSNS広告によるプロモーション	R6.5.1～R7.3.31	会津17市町村、首都圏(さいたま市)	
14	継続3		○		奥会津地域資源利活用推進事業	奥会津五町村活性化協議会	ソフト	6,250	5,000	奥会津5町村における森林資源や空き家などの地域資源は、人材やノウハウの不足から利活用が十分に図られていない。森林資源を中心とした地域資源の活用方法を地域全体で学び、人材や組織を育成し、実証事業を行うことで地域活性化につなげる。 ・森林資源の利活用事業 検討会議、ヒアリング・アンケート調査、採材・造材方法研修会、先進事例研修会 ・空き家の利活用事業 検討会議、空き家利活用勉強会、空き家相談会、古物市	R6.4.1～R7.3.31	奥会津(柳津町・三島町・金山町・昭和村)	
15	継続3		○	健康長寿	「さすけねえわ(輪)」を拡げるアンバサダーと応援隊支援事業	西会津町	ソフト	4,780	1,852	町民が「からだ(体)」「こころ(心)」「つながり(社会参加)」の3つの健康づくりを主体的に行い、町民が自ら活動できる環境づくりと健康づくりを町内へ拡げるサポーター(アンバサダーと応援隊)の育成を図る。 ・健康づくりについてのワークショップ・研修会の実施 ・健康増進を周知するためのイベント開催 ・上記を通じて取組の情報発信	R6.4.1～R7.3.31	西会津町	健康関連事業
16	新規		○	健康長寿	町民のセルフケア推進事業	西会津町	ソフト	3,936	3,148	脳血管疾患や糖尿病、脂質異常症の増加など町の健康課題を解決するため、町民が主体的に健康増進に取り組む環境づくりを行う。 ・減塩&野菜アップ栄養教室 ・運動習慣定着促進事業 ・体成分分析・野菜摂取力測定 ・健診結果説明会(保健指導)	R6.4.15～R7.3.14	西会津町	健康関連事業

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別テーマ									
		人口減少対策	過疎中										
17	新規		○	健康長寿	運動を続けるためのメンタリング支援と食による健康カラダづくり推進事業	柳津町	ソフト	2,777	2,216	住民自らが生涯にわたり心身ともに健康で日常生活に楽しさを創出するための仕掛けと仕組みづくりを実施。 ・運動を続けるための各種支援(主に体力の衰えや運動不足による体の痛みや不安の解消、身体機能チェック、体力維持向上に必要な知識の学習、健康管理数値の設定、定期的なメンタリング支援など) ・健康食の普及と食が健康に与える学習会(ケーススタディ、健康食講演会、伝統食材を使った栄養や減塩に配慮した健康食の習慣化など)	R6.8.1~R7.3.14	柳津町	健康関連事業
累計					(会津地方振興局)	17件		78,730	59,140				